

照明器具取扱説明書
蛍光灯器具用吊具

保管用

パイプ吊具品名	ツリグXFP500WW・ツリグXFP750WW・ツリグXFP101WW ツリグXFP500FW・ツリグXFP750FW・ツリグXFP101FW
チェーン吊具品名	ツリグXFC500WW・ツリグXFC101WW ツリグXFC500FW・ツリグXFC101FW

パイプ吊具組み合わせ一覧

	品名	キャノピー部	パイプ部	吊具全長
ワン型タイプ	ツリグXFP500WW	FP21008W	FK70502W	500
	ツリグXFP750WW		FK70752W	750
	ツリグXFP101WW		FK71002W	1000
フナ型タイプ	ツリグXFP500FW	FP22008W	FK70502W	500
	ツリグXFP750FW		FK70752W	750
	ツリグXFP101FW		FK71002W	1000

チェーン吊具組み合わせ一覧

	品名	キャノピー部	チェーン部	吊具全長
ワン型タイプ	ツリグXFC500WW	FP21008W	FK80502W	500
	ツリグXFC101WW	FP21008W	FK81002W	1000
フナ型タイプ	ツリグXFC500FW	FP22008W	FK80502W	500
	ツリグXFC101FW	FP22008W	FK81002W	1000

(一般屋内用) ・器具の施工には電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明 工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

警告

- 施工は、施工説明にしたがい確実に行う。施工に不備があると落下・感電・火災の原因となります。
- 吊具を改造しない。落下・感電・火災の原因となります。
- 天井取付専用吊具にて、傾斜天井・壁面への取付けはしない。落下の原因となります。
- 適合器具以外で使用しない。落下の原因となります。(器具の取扱説明書、またはカタログにてお確かめください。)
- 2本吊り専用にて1本吊りはしない。落下の原因となります。
- ハンガーの取付け間隔は、器具の吊り間隔に合わせる。
落下の原因となります。
- 開放廊下等、風の強い所では使用しない。落下の原因となります。
- 電源線の接続後の絶縁は確実にを行う。
感電・火災の原因となります。
- 単線とより線の直接接続(ねじり接続等)はしない。必ず専用工具で圧着すること。
火災の原因となります。

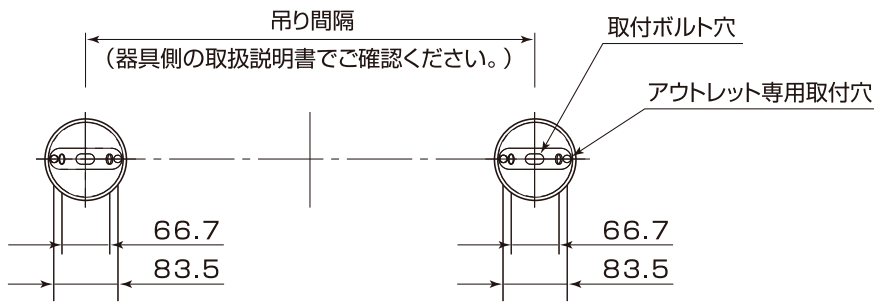
注意

- 直射日光の当たる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。落下・感電・火災の原因となります。

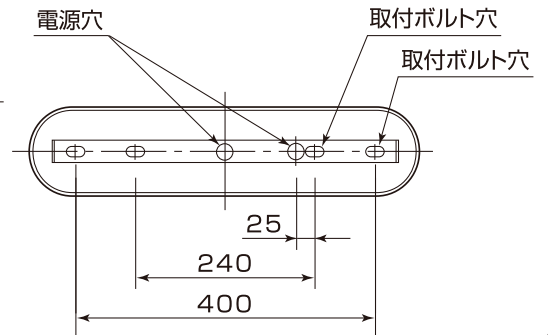
【パイプ吊具の場合】

吊具背面図

【ワン型タイプ】

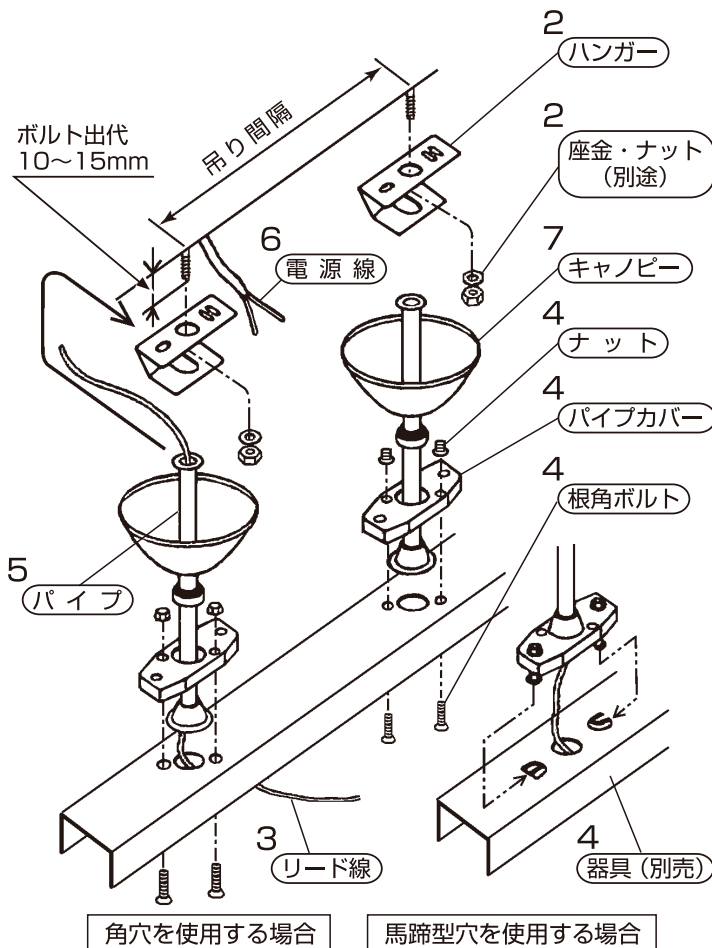


【フナ型タイプ】



各部のなまえと取付方法

【ワン型 パイプ吊具の例】



1. 取付け前の確認

- ・許容荷重 (2本で30kg) に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2. ハンガーの取付け

- ・ハンガーを取付ボルトまたはネジにて確実に取付ける。
不備があると器具落下の原因となります。

3. リード線を接続する。

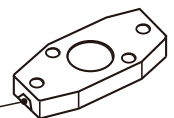
- ・同梱のリード線を器具側の端子台に接続する。
(詳しくは、器具側の取扱説明書をご覧ください。)
 - ・リード線を器具側のパイプ取付部付近の電源穴から引き出す。
(器具の電源穴にはブッシングをはめてください。)
- 接続が不完全な場合は火災の原因となります。

4. パイプカバーの取付け

- ・パイプカバー穴にパイプを通す。
- ・パイプにリード線を通す。
- ・パイプカバーを根角ボルト・ナットにて器具に取付ける。

(注) パイプカバーが干渉する場合は、
ノックアウトを取り除いてください。

ノックアウト

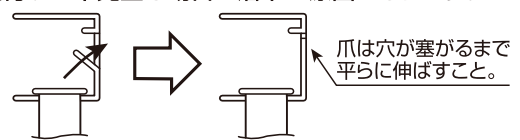


取付けが不完全な場合は落下の原因となります。

5. パイプの取付け

- ・パイプにキャノピーを通す。
- ・パイプを持って器具を持ち上げ、ハンガーに確実に引っ掛ける。
- ・ハンガーのパイプ挿入部にある抜止爪を曲げ起す。

取付けが不完全な場合は落下の原因となります。



(爪曲げ方法は左図参照)

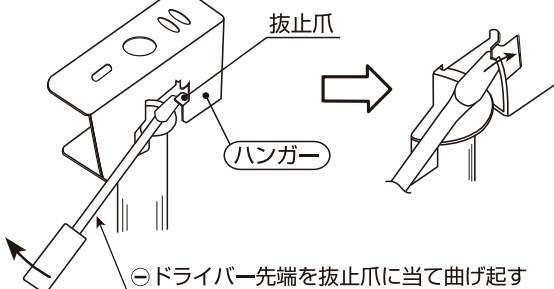
6. 電源線の接続

- ・電源線・器具口出し線接続する。
- ・接続部の絶縁を確実にを行う。
D種 (第3種) 接地工事が必要
- ・口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- ・口出し線の線種：ビニル絶縁電線
電源線の線径：0.75 mm²

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

7. キャノピーの固定

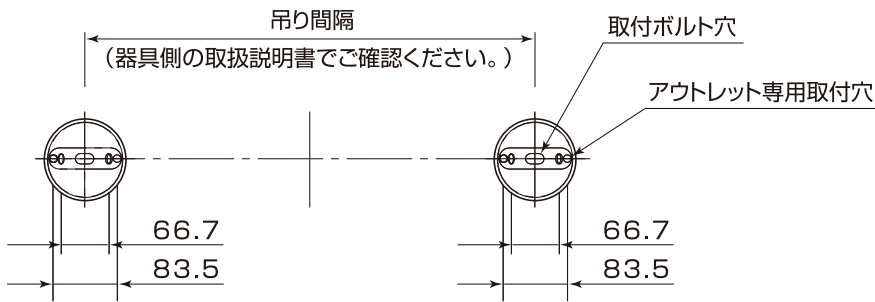
- ・ストップリングを押し上げて、確実にキャノピーを天井に密着させる。



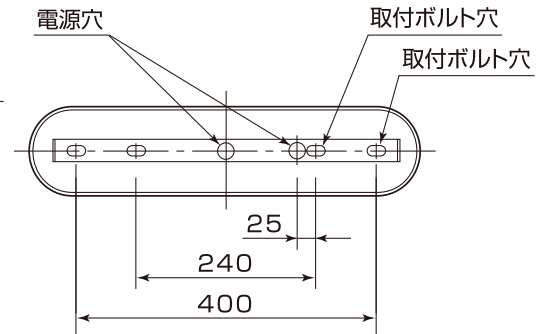
【チェーン吊具の場合】

吊具背面図

【ワン型タイプ】

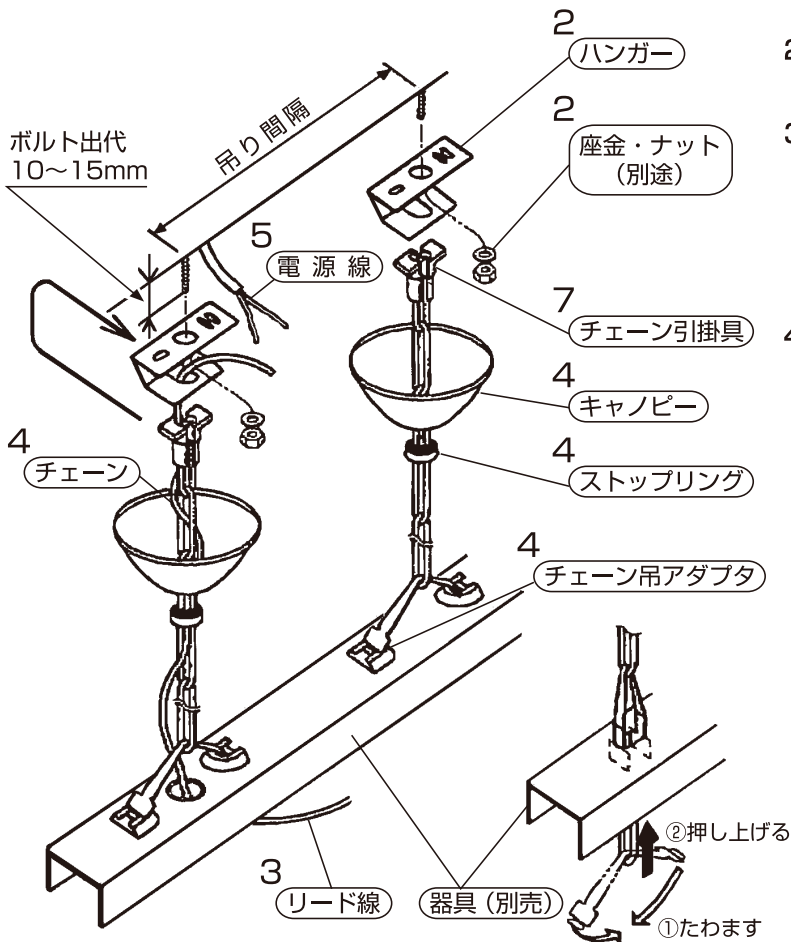


【フナ型タイプ】



各部のなまえと取付方法

【ワン型 チェーン吊具の例】



馬蹄型穴を使用する場合

長穴(12×20)を使用する場合
丸穴(φ20)を使用する場合

1. 取付け前の確認

- 許容荷重(2本で8kg)に十分耐えるよう、取付部の強度を確保する。
(取付ボルトは、W3/8またはM10を使用する。)
不備があると器具落下の原因となります。

2. ハンガーの取付け

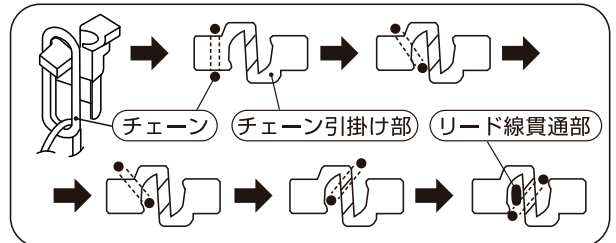
- ハンガーを取付ボルトまたはネジにて確実に取付ける。
不備があると器具落下の原因となります。

3. リード線を接続する。

- 同梱のリード線を器具側の端子台に接続する。
(詳しくは、器具側の取扱説明書をご覧ください。)
 - リード線を器具側のチェーン取付部付近の電源穴から引き出す。
(器具の電源穴にはブッシングをはめてください。)
- 接続が不完全な場合は火災の原因となります。

4. チェーン引掛け部の取付け

- チェーン吊アダプタを器具取付穴に取付ける。
- チェーンにリード線をかかすからませる。
- チェーンにストップリング・キャンピーの順に通す。
- チェーン先端にチェーン引掛け具を取付ける。



取付けが不完全な場合は落下の原因となります。

- リード線はチェーン引掛け具の中を通す。
- チェーン引掛け具を持って器具を持ち上げ、チェーン引掛け具をハンガーに引掛ける。

取付けが不完全な場合は落下の原因となります。

5. 電源線の接続

- 電源線・器具口出し線・アース線を接続する。
- 接続部の絶縁を確実にを行う。
D種(第3種)接地工事が必要
- 口出し線の接続は、電気設備技術基準の省令第7条、および同解釈第12条にしたがうこと。
- 口出し線の線種：ビニル絶縁電線
電源線の線径：0.75 mm² mm²

警告 接続、保護が不完全な場合、感電・火災の原因となります。

6. キャンピーの固定

- ストップリングを押し上げて、確実にキャンピーを天井に密着させる。

• ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。

安全に関するご注意 **警告**

- 吊具を改造しない。落下の原因となります。
- 万一、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常状態のままで使用すると、感電・火災の原因となります。すぐに電源を切り、工事店に修理を依頼する。
- 器具側のランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切る。感電の原因となります。

 **注意**

- アルカリ系洗剤は使用しないでください。強度低下による破損の原因となります。
- 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
点検せずに長期間使い続けると、まれに落下・感電・火災などに至る場合があります。

お手入れ・ランプ交換 **注意**

(必ず電源を切ってください。感電の原因となります。)

- 器具の清掃について……………
- 水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー、ベンジン、アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。